

2023年度 学校関係者評価委員会



学校法人シモゾノ学園
大宮国際動物専門学校

【 2023年(令和5年) 8月29日 】

1. 学校関係者評価委員会 について

■ 学校関係者評価委員

- | | |
|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> 高島 一昭 氏 (公益財団法人 動物臨床医学研究所 理事・所長) | 企業等評価委員 (委員長) |
| <input type="checkbox"/> 塔春 智美 氏 (株式会社 DAY ONE) | 企業等評価委員 |
| <input type="checkbox"/> 國分 達夫 氏 (東京実業高等学校 校長) (東京都立 晴海総合高等学校 元校長) | 高校等評価委員 |
| <input type="checkbox"/> 齊藤 勉 氏 (多摩地区 高等学校 進路指導協議会 顧問) | 高校等評価委員 |
| <input type="checkbox"/> 黒田 侑加 氏 (卒業生) | 卒業生等評価委員 |
| <input type="checkbox"/> 小原 美香 氏 (保護者) | 保護者等評価委員 |

■ 2023年度 第1回 学校関係者評価委員会

- 2023年7月19日(水) 15:00から17:00 【大宮国際動物専門学校 会議室 (対面・オンラインの複合方式)】
 - ① 開式の辞
 - ② 学校関係者評価の概要説明
 - ③ 委員のご紹介
 - ④ 委員長を選任
 - ⑤ 自己点検・評価のご報告
 - ⑥ 意見交換等
 - ⑦ 次回までの流れ
 - ⑧ 閉式の辞

■ 2023年度 第2回 学校関係者評価委員会

- 2023年8月29日(水) 15:00から17:30 【国際動物専門学校 会議室 (対面・オンラインの複合方式)】
 - ① 開式の辞
 - ② 学校関係者評価のまとめ
 - ③ 学校関係者評価のまとめを踏まえた、意見交換等
 - ④ 閉式の辞

| 1. 教育理念・目標 | | 評価 | エビデンス |
|------------|--|----|---|
| 1-1 | 学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人財像は明確に定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか。) | 4 | 学則、学校案内書、ホームページ「挨拶/教育理念ページ」、教育課程編成委員会 議事録 |
| 1-2 | 学校における職業教育の特色は明確になっているか。 | 4 | 学校案内書、教育課程編成委員会 議事録、卒業生状況調査書 |
| 1-3 | 学校の理念・目的・育成人財像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。 | 4 | 学生の手引き、保護者会 案内・説明PP・レジュメ、学校関係者評価委員会 議事録 |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 及び 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム③ 【監査を受けた者】チーム②
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 2. 学校運営 | | 評価 | エビデンス |
|---------|---|----|---|
| 2-1 | 教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか。 | 4 | 事業報告書(学校HP 情報公開)、事業計画共有会 レジюме、教育課程編成委員会 議事録 |
| 2-2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。(教務・財務の意思決定システム制度は整備されているか。) | 4 | 寄附行為、理事会・評議員会 議事録、学園本部会議 議事録、組織分掌図 |
| 2-3 | 学校運営に関する(事業計画・予算編成・教育活動等)に対する評価を結論として取りまとめた評価報告書を作成しているか。 | 4 | 学校関係者評価 報告書、学校HP(画面の画像)、教職員研修 資料(兼任教職員 全体会 2019年度・2021年度) |
| 2-4 | 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、人事・給与に関する規程も含め、有効に機能しているか。 | 4 | 寄附行為、組織分掌図、就業規則、理事会 議事録 |
| 2-5 | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 | 4 | 学校運営指針、組織分掌図、学校関係者評価 報告書 |
| 2-6 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | 4 | 教育課程編成委員会 議事録、学校関係者評価 報告書、学校HP(情報公開ページ 画面の画像) |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム② 【監査を受けた者】チーム③
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。
→ 【2-1】(4/4評価) について、エビデンスの一部変更を提案する。(「学生の手引き」を「学校HP 情報公開事業報告書」と「事業計画共有会のレジюме」に変更。)
→ 【2-6】(4/4評価) について、エビデンスの一部追加を提案する。(「学校関係者評価の報告書」と「教育課程編成委員会の議事録」を追加。)

| 3. 教育活動 | | 評価 | エビデンス |
|---------|---|----|--|
| 3-1 | 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 | 4 | 教職員クレド、学校案内書、学生の手引き |
| 3-2 | 教育理念・育成人財像・業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | 4 | カリキュラム、学生の手引き、情報公開(様式4) |
| 3-3 | 教育理念・到達目標に沿って、学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。 | 4 | カリキュラム、学生の手引き、情報公開(様式4) |
| 3-4 | 講義 及び 実習 に関するシラバスは作成されているか。 | 3 | シラバス・教育担当者のまとめ、コアカリキュラム |
| 3-5 | 学生によるアンケート等をもとに、適切に授業評価を実施しているか。 | 4 | 授業参観評価表、授業アンケート(学生)、学外事前・事後研修アンケート(学生) |
| 3-6 | 適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか。(教育内容 及び その評価方法・手段・スケジュール は適切か。) | 4 | 授業参観評価表、授業参観リスト |
| 3-7 | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | 4 | 学校関係者評価委員会 議事録、教育課程編成委員会 議事録、企業連携実習 評価表 |
| 3-8 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 | 4 | 学生の手引き、実技試験評価表、進級・卒業判定会議資料 |
| 3-9 | 人財育成目標の達成に向け、各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 | 4 | 学校運営指針(コアコンピテンシー)、教職員 コンピテンシー |
| 3-10 | 動物看護職関連分野との連携による優れた教員(専任・兼任共に)を確保するための活動が行われているか。 | 3 | 加盟団体一覧、企業連携研修 契約書・報告書・評価表、学校HP(教職員募集) |
| 3-11 | 関連分野における先端的な知識・技術等を習得するための研修や教員の指導力育成等の資質の向上のための取り組みが行われているか。 | 4 | 企業連携研修 契約書・報告書・評価表、教職員研修 報告書 |
| 3-12 | カリキュラムは、自主学習を含む学習時間・学習方法を学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか。 | 4 | カリキュラム、クラス別カリキュラム、学生の手引き、年間スケジュール |
| 3-13 | 講義に関し、定められたカリキュラム 若しくは それに準じたカリキュラムが実施されているか。 | 4 | カリキュラム、コアカリキュラム、情報公開(様式4) |
| 3-14 | 実習に関し、定められたカリキュラム 若しくは それに準じたカリキュラムが実施されているか。 | 4 | カリキュラム、コアカリキュラム、情報公開(様式4) |
| 3-15 | 講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか。 | 4 | 募集要項、入試面接(入試記録)、学生の手引き |
| 3-16 | 動物を使用する実習・実験等に関し、これらに関する倫理や動物の福祉についての規則やマニュアルが整備され、公表されているか。 | 4 | 学校飼育動物管理規程、学生の手引き、学校HP(教育理念)、学内掲示物(アニマルウェルフェア・動物の逸走防止対策) |
| 3-17 | 学生の成績情報等への閲覧制限が適切に設定されているか。 | 4 | 個人情報管理区分、みんなで取り組む個人情報の管理、学籍管理 |

【自己点検・評価】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
 - 全般的に適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
 - 【3-10】(3/4評価)について、取り組み自体は行えているが、本学園が求める教職員数を満たせていないため、3評価とする。
- ② 特記事項
 - 特になし。

【内部監査】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
 - 【監査を行った者】チーム③ 【監査を受けた者】チーム①
 - 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
 - 全項目 について、適切な評価が行われている。
 - 【3-10】(3/4評価)について、エビデンスの一部追加を提案する。(多数の動物関連団体に加盟し連携強化に取り組んでいることを踏まえ、「加盟団体一覧」を追加。)

| 4. 学習成果 | | 評価 | エビデンス |
|---------|--|----|---|
| 4-1 | 年度末における就職率の向上が図られているか。 | 3 | 就職率データ(過去3年間)、保護者会資料、未内定学生リスト、学内企業説明会案内、掲示用就職内定数(IAC大宮校) |
| 4-2 | 資格取得率の向上が図られているか。 | 4 | 愛玩動物看護師 国家試験補講スケジュール、美容会議 議事録、ドッグ学科 ステップアップ試験実施要項 |
| 4-3 | 入学者に対する卒業率はどうか。 | 3 | 情報公開(様式4)、事業計画 PDCA会議(学習成果状況報告データ)、卒業率向上会議 議事録、就職セミナー開催案内(Uターン・ターン) |
| 4-4 | 在校生の社会的な活動に対し、それを把握し、評価する体制があるか。 | 4 | 学生の手引き、ボランティア案内書 |
| 4-5 | 学生の学習成果の評価に際して、育成する人財像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか。 | 4 | クレド、学生の手引き、進級・卒業判定会議資料 |
| 4-6 | 教育・訓練 及び 実習 等を委託する場合、その目的・要望事項・評価項目等の依頼を明確にしているか。 | 4 | 企業連携実習 契約書、実習依頼状、実習評価表 |
| 4-7 | 動物看護総合実習等の企業と連携した実習について、依頼先と十分なコミュニケーションをとり、その内容・評価方法を事前に定め、評価しているか。 | 4 | 動物看護総合実習 依頼書、動物看護総合実習 評価表、企業連携実習 評価表 |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム① 【監査を受けた者】チーム②
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 5. 学生支援 | | 評価 | エビデンス |
|---------|--|----|--|
| 5-1 | 進路や就職に関する支援体制が整備され、学生や保護者等に周知されているか。 | 4 | 学生の手引き、合同企業説明会資料、保護者会資料 |
| 5-2 | 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか。 | 4 | 年間スケジュール（健康診断スケジュール）、提携病院 契約書、救急技能講習 受講リスト |
| 5-3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 | 4 | 募集要項、学生の手引き、下園龍二記念 奨学生（名簿）、家族入学支援奨学生（名簿）、学習成果の報告（事業計画PDCA会議の資料） |
| 5-4 | 学生相談に関する体制は整備されているか。（相談窓口が設置されているか。） | 4 | カウンセリングルーム 案内、カウンセリング記録、学生相談 報告書 |
| 5-5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか。 | 4 | 学生の手引き、課外活動・サークル活動申請書 |
| 5-6 | 学生の生活環境への支援体制は整備されているか。 | 4 | シモノ学園のサポート制度、学校案内書（学生会館案内・学生マンション案内）、学生のでびき |
| 5-7 | 保護者との連携は適切に行えているか。 | 4 | 学生のでびき、保護者会案内書、学校HP（在校生用ページ） |
| 5-8 | 卒業生への支援体制は整備されているか。 | 4 | 卒業教育セミナー 案内書・報告書、学校HP（卒業生向け求人票ページ）、学校関係者評価委員会 議事録、卒業生 来校者名簿・来校時アンケート |
| 5-9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4 | 募集要項、学校運営指針 |
| 5-10 | 高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取り組みが行われているか。 | 4 | 職業体験受け入れ関連書類、高校ガイドンスー覧 |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム② 【監査を受けた者】チーム①
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 6. 教育環境 | | 評価 | エビデンス |
|---------|--|----|--|
| 6-1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分に対応できるように整備されているか。 | 4 | 授業時間割り表、施設使用割当て表、組織分掌図 |
| 6-2 | 防災に対する体制は整備されているか。 | 4 | 学生の手引き、防災・避難訓練 実施要項（避難型）、防災・避難訓練 実施要項（実践型） |
| 6-3 | 実習室には検査に必要な設備が整備されているか。 | 4 | 施設使用割当て表、教育機器備品管理台帳、予算書 |
| 6-4 | 動物に協力してもらえる実習室 及び 必要な動物 が備わっているか。 | 4 | 施設使用割当て表、動物管理台帳 |
| 6-5 | 自己学習に必要な図書室 ないし 図書スペース 及び コンピューター が利用できる環境が整備されているか。 | 4 | 校舎案内データ、図書管理台帳、学生ラウンジ・図書室 利用規定 |
| 6-6 | 学校の施設や備品等は、定期的に管理・点検されているか。 | 4 | 修繕・備品等 中長期計画データ、予算書 |
| 6-7 | 実習室等の学校施設や設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか。 | 4 | 施設使用割当て表 |
| 6-8 | 海外研修制度はあるか。また、その際の学生への指示・教育は十分に実施されているか。 | 4 | 海外研修の実施検討資料（2022年度）、海外研修 報告・改善書（2019年度） |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム② 【監査を受けた者】チーム③
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 7. 学生の受け入れ募集 | | 評価 | エビデンス |
|--------------|---|----|--|
| 7-1 | 学生募集活動は適正に行われているか。 | 4 | 学校案内書・募集要項、入試・学費説明会説明PP、情報公開（様式4、プライバシーポリシー）、入試結果リスト（順位付け） |
| 7-2 | 学納金は妥当であるか。 | 4 | 情報公開（財務）、学費の比較資料（同分野 他校の学費情報 等） |
| 7-3 | 特別な対応が必要な学生への対応を定め、共有しているか。（身体的事項や精神的事項等） | 4 | 入学相談室対応マニュアル、留学生対応マニュアル、進学相談カード（カルテ） |

【自己点検・評価】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
 - 全ての項目 について、適切な取り組みが行われている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
 - 【7-3】(4/4評価) について、過去の事例を踏まえ、新たな対応指針を作成することを検討する。
- ② 特記事項
 - 特になし。

【内部監査】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
 - 【監査を行った者】チーム③ 【監査を受けた者】チーム②
 - 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
 - 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 8. 財務 | | 評価 | エビデンス |
|-------|-------------------------|----|------------------------------|
| 8-1 | 中・長期的に学校の財務基盤は安定しているか。 | 4 | 学校HP (情報公開ページ 画面の画像) |
| 8-2 | 予算や資金収支計画は有効かつ妥当であるか。 | 4 | 監査報告書、理事会・評議員会 議事録、情報公開 (財務) |
| 8-3 | 財務について、会計監査が適正に行われているか。 | 4 | 監査報告書 |
| 8-4 | 財務情報の公開の体制整備はできているか。 | 4 | 財務情報公開規程、学校HP (画面の画像) |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みがされている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム② 【監査を受けた者】チーム③
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 9. 教育の内部質保証システム | | 評価 | エビデンス |
|-----------------|---|----|---------------------------------------|
| 9-1 | 法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか。 | 4 | 監査報告書、就学支援新制度 機関認定確認書、文書取扱規程 |
| 9-2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 | 4 | 個人情報保護規程、個人情報保護規程に関するSCのまとめの掲示物 |
| 9-3 | 自己点検・評価の実施と課題の改善を行っているか。 | 4 | 自己点検・評価委員会 議事録、学校関係者評価 報告書、学園本部会議 議事録 |
| 9-4 | 自己点検・評価の結果を公開しているか。 | 4 | 情報公開（自己点検・評価の報告） |
| 9-5 | 教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な期間ごとに見直しているか。 | 4 | 職務記述書、教職員面談記録（SCシート） |
| 9-6 | 評価目標 及び 想定される評価範囲 を整理し、記述できているか。 | 4 | 授業参観評価表 一覧、授業参観評価表（講義形式・実習形式） |
| 9-7 | 教職員に対する評価方法・スケジュール・評価の仕方等が書類として文書化されているか。 | 4 | 学校運営指針（GB）、学園 年間スケジュール、教職員 SCシート |

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みがされている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【 内部監査 】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム① 【監査を受けた者】チーム③
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。
→ 【9-1】(4/4評価) について、エビデンスの一部追加を提案する。（「文書取扱規程」を追加。）

| 10. 社会貢献・地域貢献 | | 評価 | エビデンス |
|---------------|--|----|--|
| 10-1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動の奨励や支援、地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む。）の受託等を積極的に実施しているか。 | 4 | 生涯教育・社会貢献計画、桜木小学校ふれあい動物園 報告書、埼玉県リアル体験教室の実施概要 |

【自己点検・評価】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みがされている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【内部監査】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム② 【監査を受けた者】チーム①
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

| 11. 国際交流 | | 評価 | エビデンス |
|----------|--|----|---------------------|
| 11-1 | 留学生の受け入れや派遣について、計画的に活動するとともに、在籍管理等において、適切な手続き等を行っているか。 | 4 | 留学生用募集要項、入国管理局への報告書 |

【自己点検・評価】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組み について
→ 全ての項目 について、適切な取り組みがされている。引き続き、各取り組みの質の向上に取り組む。
- ② 特記事項
→ 特になし。

【内部監査】

- ① 参加者名 および 実施日時・場所 について
→ 【監査を行った者】チーム② 【監査を受けた者】チーム③
→ 【監査日時】2023年6月6日(火) 10:30 ~ 12:30 【場所】IAC東京校 会議室
- ② 監査結果
→ 全項目 について、適切な評価が行われている。

■ 高島 一昭 氏 (公益財団法人 動物臨床医学研究所)

【 企業等評価委員 】

- 【4-7】「動物看護総合実習等の企業と連携した実習について、依頼先と十分なコミュニケーションをとり、その内容・評価方法等を事前に定め、評価しているか。」という項目があるが、学外実習の頻度や時間・内容はどの程度であるのか。また、学習成果という点だけでなく、実習を通して就職・採用にどのような影響があるのかをお伺いしたい。
- 【6-8】「海外研修制度はあるか。また、その際の学生への指示・教育は十分に実施されているか。」という項目があるが、昨年度、海外研修が実施されなかったにも関わらず、4評価である理由をお伺いしたい。
- (高島氏) 1人でも参加希望者がおり、それが実施できなかったのであれば、評価は下がるものではないかと感じる。制度があり、実施することが本来の評価基準ではないかと思慮する。
- 【10-1】「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動の奨励や支援、地域に対する公開講座や教育訓練(公共職業訓練等を含む。)の受託等を積極的に実施しているか。」という項目があるが、昨年度も本内容について言及したが、今後の展望などをお伺いしたい。
- 国立大学で授業を受け持っているが、大学側から「大学生をお客様だと思って授業を行ってください」と伝えられ、驚くことがあった。今は授業中に寝ている学生に「不真面目だから単位認定を考慮する」と言葉さえ、アカデミックハラスメントやパワーハラスメントになってしまう。このような状況にある中、学校ではどのような姿勢・態度で学生と向き合うのかをお伺いしたい。
- 大学・短大・専門学校などと実際の臨床の現場は異なる。動物の生命に関わることであるため、失敗してドンマイで済む世界ではない。私の学生時代は、国家試験は合格も不合格も個人の問題であったのに、現在は受験率・合格率を上げるために大学でも試験対策を行っている。大学でも高校のように担任制度が設けられ、過保護な学校生活と、弱肉強食である現実の社会では落差が広がっている。お客様のように丁寧に扱われていた学生時代から、就職して過酷な現場に出ると心が病み、退職してしまうこともあると聞く。現場のリアルな体験を学生時代から経験してもらい、少しでも社会との落差を埋める教育を期待している。また、愛玩動物看護師も出身校によって成熟度レベルが異なることを感じている。ぜひ、素晴らしい教員を育成し、素晴らしい学生を育てて欲しい。
- 自己点検・評価の評価が全体的に高く、日頃から素晴らしい運営を心掛けられているものと推察する。愛玩動物看護師が国家資格化され、社会のニーズが急激に高まった今、愛玩動物看護師を目指す人も増加していると思う。貴校のように、学校生活を通してしっかりと学習体制が整備されており、また、愛玩動物看護師国家試験の高い合格率を誇れば、自ずと貴校への入学を志望する方が増加し、貴校としてもより良い学生を得ることができるものであると推測する。今後は獣医大学のように、国家試験の合格率をもって、各学校が評価されるという外部評価の中での競争となるだろう。今後も高い国家試験合格率を維持できる素晴らしい学校であり続けることを期待している。
- 愛玩動物看護師には国籍条項は定められていないため、今後は海外からも学生が集まるようになるかもしれないと考える。現在の留学生は0人とお聞きしたが、少子化が進む我が国の現状を鑑みると、海外留学生も入学できるような体制を少しずつでも整えていく必要があるのではないかと。
- (高島氏) 愛玩動物看護師は就労ビザとして認められないのか。

- 様々な学校を卒業したトリマーや愛玩動物看護師がいるが、学校によってカリキュラムが異なり、個人によって知識・技術の習得の差はあると感じている。国家試験を合格していても一般的なスキルが足りない学生もいる。医学部では合格率を上げるために、合格できそうにない学生は受験させないということもある。学校の評判を取るか、学生を取るか、ジレンマが生じることもあるだろう。

■ 塔春 智美氏（株式会社 DAY ONE）

【企業等評価委員】

- 教職員育成として、教職員の入社後の育成プログラムやキャリアプランはどのような状況であるかをお伺いしたい。
- 現在、ますますデジタル化が進んでいく中で、アナログ的なやり方は社会などとの差が広がっているのではないかと。教職員を魅力的にすることは学生の満足度に繋がり、学校としてもメリットが非常にあると感じる。取り組み方の一例として、教職員の知識・技術は完全に外部で学ぶこととし、教育者としての教育については貴校独自で研修を行うなどと役割分担をするのも良いのではないかと。私は現在、トリミングサロンをバックアップする会社に勤めており、その関係で外部のトリマーと意見交換をすることが多々ある。自分のお店の従業員の育成だけでなく、日本全国のトリマーの卵たちをどのようにしてサポートしていくかを懸命に考えている方もたくさんいらっしゃる。そういった方々の考えと貴校などの学校の教職員のスキルアップにつなげられれば社会的により良い流れになるのではと思慮する。
- トリミングについての教科書はあるのか。また、それは様々な学校においてある程度共通のものなのか。
→（塔春氏）トリミングの技術は年々進化しているが、教科書は最新のものにアップデートされているのか。
- スクールカウンセラーの利用率はどのくらいであるかお伺いしたい。
- 「1. 教育理念・目標」（特に、美容学科）について、「人と犬にやさしいトリミング」という方針は学生にも分かりやすい言葉で方針を示すとともに、それに沿った授業やイベントなどを実施されていることが素晴らしいと感じた。顧客は単にカットが上手でデザインがかわいいということだけでなく、「犬の専門家」として、犬との向き合い方や扱い方などのトリミング以外の知識を持つトリマーさんを求めている。また、コロナ禍を経て、トリマーはエッセンシャルワーカーであり、無くてはならない存在ということがより明確になったと思う。今後もこの方針が変わることなく、良い人財の創出を期待している。
- 「3. 教育活動」について、先ほどもお伝えしたとおり、教職員のみなさまの育成体制の拡充や外部講師を活用する仕組みなど、教育する者の体制の強化を提案する。今後デジタル化がさらに進み、ハード面が充実することは確かと思うが、そのような時代だからこそソフト面の強化が必要と考える。教育の現場にもデジタルをどんどん導入したり、外部講師を活用するなどの取り組みを行い、多忙な教職員が自身のスキルアップや人間力アップを目指せる時間を設けられれば、それが最終的に学生への提供価値向上につながると思う。
- 「5. 学生支援」について、卒業生への支援制度も整備されているようであるが、「学びなおし」の仕組みやネットワークの活用などを企業と連携し、充実させていただきたい。2年間の学生生活と入社後のOJTだけでは技術の向上は難しく、小さなサロンでは育成も追いつかない現状がある。「学びなおし」は一度家庭に入った方の復職支援にもつながり、全国的なトリマー不足の解消にも貢献できると考える。

- 貴重な経験をさせていただき感謝する。外部から様々なサロンを見ると、受け入れ側の企業の体質に問題があることにも気づき、気を引き締めて取り組んでいかなければならないと改めて感じた。また、クレドを形骸化させないことは本当に大変なことである。クレドが働くことの誇りにつながるようになると良いと考えており、そうした教職員の働き方は学生たちにも伝わり、良い影響を与えようと思う。

■ 國分 達夫 氏（東京都立 晴海総合高等学校 元校長）

【 高校等評価委員 】

- 高等学校は評価の観点点が3つあり、1つ目が知識・技能、2つ目が思考力・表現力・判断力、3つ目が学びに向かう力につながる主体性・協調性・多様性である。これらを本校では、35%・35%・30%で評価をしているが、その評価結果と10段階評価の評価基準が異なり、整合性が取れない部分も生じている。観点別評価の導入により従来と異なる評価に戸惑いがあることもある。【3-5】「学生によるアンケート等をもとに、適切に授業評価を実施しているか。」という項目があるが、多くの教員に共通する課題はあるのかお伺いしたい。
- 組織的に教育委員会が支援をしてくれる公立の学校と違い、私立学校は教員を育てることが難しいと感じる。良い教員を採用する方法や、採用後にどのように育成をしているのかお伺いしたい。
- 第1回目の学校関係者評価委員会にはオンライン形式での参加であったため、通信不備により他の委員の方々のご意見が聞くことが十分にできなかった場面があり、ここで述べる意見が重複することもあるかと思うが、ご容赦をお願いしたい。
各項目の評価の説明において、担当の先生方の説明が根拠資料となるエビデンスに基づいて説得力を持って話されていたと感じた。貴学園の学校関係者評価に数年前から携わっている者として、「4評価」が増えたと率直に感じる。初めの頃は、「4評価」にするための様々な助言をしていたが、最近は見方が少し変わったように思う。
私は、校長（管理職）という職は、「課題意識を持つこと」が重要であると捉えている。従って、評価項目の問いに対しての評価の適正さだけでなく、その評価項目から派生する「課題意識」の観点から意見を述べさせていただく。
- 【1-1】「学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか。」という項目があるが、学校の理念や教育目的・育成人材像は、学校運営の基本となるものであり、とても重要であると捉えている。物事を判断したり、決定したりする時に、理念に立ち返って考えることは多々あり、そのような機能を果たしているものとなっているのか気に掛かる。都立の高校などでは、学校の理念等は定められているものの、形骸化されている学校もあると感じる。理念に沿った学校運営が求められる。
→（國分氏）都立高校を立ち上げる際に学校の特色を作り、それを理念に込めたが、教職員の入れ替わりにより、濃く作った特色がどんどん薄れてしまい、普通の学校になってしまった経験をしており、特色を継続していくことは困難であると同時に非常に大切なことであると実感している。決断が難しいと感じることが生じれば、理念や創設の精神に立ち返ることが大切であると思慮する。
- 【3-5】「学生によるアンケート等をもとに、適切に授業評価を実施しているか。」という項目があるが、授業評価を授業担当者にフィードバックすることは大切なことであるが、管理職が課題意識を持ってその評価を読み取ることも重要なことである。例えば、共通の課題を取り出して研修会などを開き、更なる授業力の向上に繋げる契機とすることも可能である。
- 【3-10】「動物看護職関連分野との連携による優れた教員（専任・兼任共に）を確保するための活動が行われているか。」という項目があるが、高校では指導力のある先生を確保することが大きな課題となっている。「教育は人なり」という格言の通り、高い意識を備えた先生を確保することが強く求められる。都立高校などでは、その資質を持った先生を採用し、初任者研修などで着実に育てる体制が構築されているが、私学では採用が不定期であることも一因としてあり、育成の体制が不十分であることは否めない。経験豊富な先生の力を借りて、育成に取り組んではいけるが満足するまでには至らず、組織的な対応が求められるところである。

【7-3】「特別な対応が必要な学生への対応を定め、共有しているか。」という項目があるが、その具体的な事例が非常に多様化してきており、判断を下すことが難しい事例もあると感じる。そうした対応については、教職員間での共通理解を深め、柔軟な対応ができる環境作りが要点になると捉えている。

保護者の方から非常に評価の高い言葉をいただけており、率直にうらやましいと感じた。当校でも保護者の方から同様の言葉をいただけるように真摯に取り組まなければならないと気持ちを新たにさせていただいた。

■ 齊藤 勉 氏（多摩地区高等学校進路指導協議会 顧問）

【 高校等評価委員 】

小学校や中学校で実施されており、都立高校でも昨年導入された観点別評価というものがある。これは一般的な5段階評価やABC評価の他に、レポートチェックや授業の参加度を通して積極性があるかなど項目に沿って評価していくものである。この導入により、日々の授業の中でも学生一人一人をしっかりと見ていかなければならないため、教員の立場から申すと作業量が膨大で大変な労力である。貴校ではどのような評価方法をなされているのかお伺いしたい。

→（塔春氏）私が以前勤めていた会社では、社員評価に用いる評価表に、技術や売り上げなどの実績の他に「チームプレーができているか」・「リーダーシップはあるか」などの観点別の評価項目もあった。評価方法は、上司・他部署の上司・チームメイトの360度評価で、10段階評価であった。評価を行う側は負担が大きい、学生の頃から観点別評価を受けていると、仕事をする際に人に寄り添う心が持てていないかを感じる。

第1回愛玩動物看護師国家試験を貴校の学生は全員合格されたと説明があったが、使用する教科書はどのように選定しているのかお伺いしたい。

第1回 学校関係者評価委員会では、学生への評価（成績の付け方）、教員の採用と養成の問題が取り上げられた。高校にも導入された観点別評価は、専門学校での必要性を現段階では個人的には感じないが、多様な評価について委員の方々に知っていただければと思う。教員について、優秀な教員がいることを自慢している専門学校がある。実際、その学校の学生から教員への不満を聞いたことがない。その学校では、在学中から教員に向けていそうな学生に目を付けて育てているようである。半世紀以上の長い伝統ゆえ可能なかもしれない。今後、貴学園には動物分野の良い教員を育てるパイオニアになっていただくことを期待する。

チャットGPTを使用して学生がレポートの作成などを行う可能性について、学校として何か検討をされているかお伺いしたい。

理事長や校長の思いや創立者の思いを職員に広げていき、さらに自分で考え、学生のために何ができるかを考えられるようなクレドにしていきたい。今後も期待している。

■ 黒田 侑加 氏（卒業生）

【 卒業生等評価委員 】

入学時に購入したものの、ほとんど使用しない教材があった。教材の使用方法は教員個々の授業方針で決まるのかお伺いしたい。

学生時代、就職支援をもう少し手厚く受けたかったと感じる。なかなか自主的に行動できない内気な学生は、進路に関する掲示板を見に行ったり、進路相談を先生に依頼することができず、クラス内でも差が出てしまう。クラス全員で進路相談室で求人を見る時間などを設けることを提案したい。

- 私は個人店のドッグサロンに就職したのだが、学校での生活と社会人として就職してからの生活にギャップを感じた。学生のうちに卒業生などから、企業での1日の業務や流れを聞かせてもらえれば良かったと思うのだが、そういった取り組みを現在は設けられているかお伺いしたい。
 - (黒田氏) 学校の普段の美容実習の授業では2人で1頭を担当していたが、現場では1人で1頭をこなさなければならず、時間配分が全く異なり、現場での犬の扱い方やスピードに衝撃を受けた。
- 海外研修について、在学時に私も参加したが、ドッグショー内での自由行動をもう少し検討した方が良いのではないかと感じた。クラフトの勉強やドッグショーの見方など事前を知る機会を経て参加した方が得るものが大きいと考える。海外研修の内容が充実しているため、尚更ただ楽しかったというだけではもったいないという印象を受けた。
- 動物看護分野では、国家資格取得に向けた取り組みや卒業セミナー等を見かけるが、美容分野でもスキルアップにつながる取り組みはあるのか疑問に思う。卒業セミナーで実践的な知識や技術を学ぶ場が増えることを期待する。
 - (塔春氏) 告知はどのようにして行っているのか。
 - (塔春氏) 卒業生のコミュニティを作ることが良いのではないか。セミナーを無料で受講できたり、会報誌が届くなどコミュニティに属していることに価値があるようにしなければならない。卒業生は資産であり、卒業生満足度アップの仕組みを構築されることを提案したい。
- 本委員会に参加することで在学時は知らなかったことが見えて、先生方が学生のために様々な活動に取り組んでいることが分かり、大変嬉しく感じた。

■ 小原 美香 氏 (保護者等)

【 保護者等評価委員 】

- 学校行事や試験前での技術指導フォローに教員が真摯に対応していただいているお話を娘より伺います。貴校の教職員のみなさまの温かいご指導により、娘も日々楽しく学校生活を過ごしている印象を受け取っています。
- インスタグラムの配信を楽しみにしている。保護者にとっては娘の様子を一瞬でも目の当たりにできる光景は安心する瞬間であるため、引き続き今後も楽しみにしております。
- 学生間で実習に対する意見交換が活発で、1年から2年に進級していく過程で、学生個々のスキルアップはできていると感じる。また、研修旅行は人が移動するというだけでも準備が大変だが、さらにドッグスペシャリスト学科では担当犬も同行するため、担当犬のことも考えて行動する必要があり、より一層大変な面もあるだろうと感じる。犬とコミュニケーションを取り、信頼関係を築き上げていることが素晴らしい。
- 学生間のトラブルの対応は、どこまで教職員が把握できているのか、どのように解決されているのか気に掛かる。個人面談などによる状況把握や学生同士の関係性をよくするために取り組まれていることがあればお伺いしたい。
- 娘2人が貴校でお世話になり、姉は羽田空港で頑張っており、妹は現に学ばせていただいている。その娘から学校の様子を聞き、充実した学生生活を送れていることが分かり、入学させて本当に良かったと思っている。今後も貴校に期待し、応援している。
- 貴学園に動物病院が新たに設置されることを受けて、貴校に携わった数年の短い時間でも、学校がどんどん「見える化」され、常にブラッシュアップしていくことに非常に感心する。

- 数多くOCに参加させていただく中で、教職員の方々の説明内容や発声の音域が心地良く素晴らしいと感じる。